

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (14) カワチマルクビゴミムシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

カワチマルクビゴミムシ *Nebria lewisi* Bates は, 体長 12-14.5 mm ほどのオサムシ科に属する地表性甲虫で, 本州, 四国, 九州に分布している (上野, 1985). 本種は海岸だけでなく河川敷などにも生息する. 島根半島の海岸では, 神戸川の河口や宍道湖岸の砂浜で確認されている (河上・林, 2007).



写真 漂着物の下に隠れていたカワチマルクビゴミムシ

2006 年 4 月 17 日 10 時 53 分, 出雲市大社町の神戸川河口にて撮影. 河口に漂着した流木の下に潜んでいた個体. なお, 林 (2006) により, 宍道湖西岸の干潟からキベリマルクビゴミムシ *Nebria livida angulata* Banninger が報告されているが, 本種の誤同定である (河上・林, 2007).

[文献] 林 成多 (2006) 宍道湖西岸の干潟に生息するゴミムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 112.

河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10). 印刷中.

上野俊一 (1985) オサムシモドキ亜科. 上野俊一ほか編「原色日本甲虫図鑑 II」: 63-64, pl. 51-54. 保育社.